

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		しんがくどう福岡東					公表日	令和7年3月29日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3		使用目的に応じた教員教材を準備している。	お子さんに合わせた支援なツールのバリエーションを増やしていく。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		利用希望に応じた柔軟な人員配置を行っている。	利用者増加時の職員体制の調整に備える必要がある。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		定期的に振り返りを行い、計画見直しを意識している。	PDCAサイクルの共有を全職員で徹底する仕組みが必要。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		保護者アンケートを実施し意見収集に努めている。	回収率の向上と集約・分析後のフィードバックを現場に継続的に実施することが課題。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		日常的な職員の意見交換の場を設けている。	定期的な形式ある意見収集の機会を設けていく。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	自己評価を行っている。	今後、コンプライアンス部署を設置する。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		年間を通じて内部研修を実施している。	職員のニーズに合った多様な研修機会の提供が必要。		
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		アセスメントに基づいた個別支援計画を作成している。	アセスメントツールのさらなる活用・標準化、デジタル化を検討。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		チームで子どもの様子を共有し計画を検討している。	職種間での共通理解の機会をさらに設けたい。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		担任や関係者の意見を反映して計画を作成している。	訪問先との意見交換の頻度と内容を引き続き継続する		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		職員間で支援内容を共有して支援を行っている。	計画書の共有方法・タイミングの明確化が必要。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		行動観察や簡易チェックリストを用いて評価している。	標準化ツールの導入と活用について検討中。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		ガイドラインを参考に具体的な内容を設定している。	ガイドラインの再確認と支援内容の見直しを定期的に行いたい。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		計画に沿って支援が行われている。	支援の質の均一化に向けたモニタリング体制の強化が必要。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		支援前に簡単な打ち合わせを行っている。	支援前ミーティングの内容や形式を統一していきたい。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	支援後に口頭で振り返りを行っている。	書面での振り返り記録を残す体制の整備が必要。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		訪問先施設の方針や方法に寄り添って支援している。	方針の共有機会を定期的に確保したい。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		支援内容の記録を毎回行っている。	業務の効率化と支援方針の共有方法の検討をより良いものにしていく。			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		定期的にモニタリングを行い、見直しに活かしている。	見直し結果を保護者にも丁寧に説明する体制が必要。
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		状況を理解している担当者が会議に出席している。	支援が子どもたちの生活レベルまで汎化させることが課題。今後も先生方と協力し実現に向けて務めていく。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	保健・福祉・教育等の機関と連携が上手くいかないことがある。	関係機関との情報共有の効率化と役割分担の明確化が課題。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		学校との連携を取りながら就学移行を支援している。	訪問先によって連携にばらつきが見られるため、引き続き対話を通じて理解を図っていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1	外部研修や専門機関からの助言を受けている。	職員ごとの研修記録の蓄積・評価が必要。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。		3	参加できていない。	地域の協議会等へ参加を検討
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3		保護者と日常的に情報共有を行っている。	引き続き、保護者の生活スタイルやニーズに応じた柔軟な対応をしていく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	家族向け支援の情報提供を行っている。	定期的な保護者向け研修会の開催を検討
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		利用前の説明を丁寧にしている。	説明項目のチェックリスト化や資料の標準化を進めて、より丁寧に説明を行う。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		訪問先への説明も丁寧にしている。	訪問支援の内容をプレゼン資料にまとめてより丁寧に説明を行う。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		本人・家族の意向を確認して計画を立てている。	引き続き、時間をかけて、ご家族や本人の意向を聞くように努めていく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	3	保護者交流の機会が少ない。	オンラインも含めて交流イベントを検討したい。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		SNSで活動報告を行っている。	SNSで活動報告を行っているも、さらにご家族に周知してもらうために案内していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
36	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3				
訪問先施設への説明	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	1	カンファレンスの日程調整で上手くできないことがある	訪問先の先生方の業務負担にならない範囲で実施の頻度とタイミングを検討していく必要がある
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			

	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	ご家族への周知が十分に行き届いていない。	ホームページなどを通じてご家族がいつでも確認できるように整えていきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリハットの共有・再発防止策を行っている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待防止研修を実施している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		身体拘束について、説明・記載・同意を得ている。	